

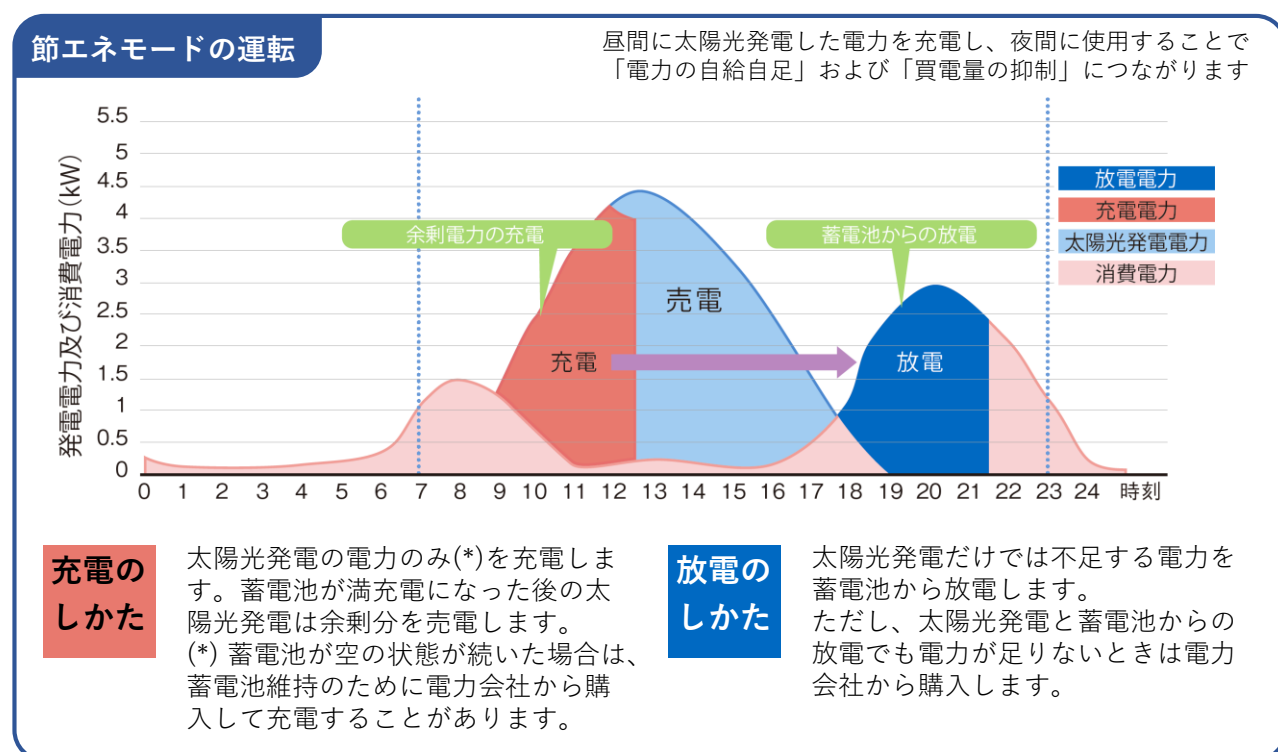
ハイブリッド蓄電システムでの節電要請対応方法

弊社ハイブリッド蓄電システムEIBS(アイビス)による節電要請協力の対応方法のご紹介です。

EIBSの運転モードを「**節エネモード(※)**」へ切り替えることで、他の運転モードよりも購入電力量を節電することができます。

節エネモードは太陽光発電した電力を蓄電池に充電して、最大限ご家庭での電力消費にする運転モードです。電力会社からの電力購入を抑えることで政府や電力会社の節電要請に応えることができます。

(※) グリーンモードとも呼ばれているモードです。
スマートモードでも同様の節電効果が得られます。



電力会社の需給ひっ迫に対して、無理なく節電協力することができます。運転モードの切替方法は、次ページ以降をご参照ください。

なお、『災害時に活用可能な家庭用蓄電システム導入促進事業費補助金』を受給されたお客様は、**節電要請期間中は「節エネモード」に切り替えて運転するよう重ねてお願い申し上げます。**

運転モードの切替方法(EKH2A[EHD-S55MP3B])

- EKH2A(パワーコンディショナ型名EHD-S55MP3B)の運転モード設定はリモコンで行います
※操作方法については取扱説明書も合わせてご覧ください。

手順	リモコン画面
① リモコンのいずれかのボタンを押す • トップ画面が表示されます 現在の運転モード(右図の赤枠内)を控えてください(節電要請解除後に元のモードに戻すため)	
② トップ画面で 設定 ボタンを押す • 設定項目の選択画面が表示されます ↓ ボタンで「運転モード切替え」を選択し、設定 ボタンを押す • 運転モード設定の画面が表示されます	
③ ↓ ボタンで「運転モード」を選択し、変更 ボタンを押して運転モードを「節エネモード」に切り替える • 運転モードは、「ノーマルモード」→「節エネモード」→「蓄電モード」→「スマートモード」の順に切り替わります。	
④ ↓ ボタンで「表示値確定」を選択し、決定 ボタンを押すと、値が設定され、設定項目の選択画面に戻ります。	
⑤ 戻る ボタンを押してトップ画面を表示し、運転モードが「節エネ」になっていることを確認する。	

運転モードの切替方法(EIBS7①：スマホアプリ)

- EIBS7(パワーコンディショナ型名EHF-S●MP●B)の運転モード設定をスマホアプリで行う方法です。
※操作方法については取扱説明書も合わせてご覧ください。

手順

- ① スマートフォンアプリを起動し、トップ画面を表示します。
現在の運転モードを控えてください(節電要請解除後に元のモードに戻すため)



- ② メニュー → 設定 → 運転モード の順にタップします。

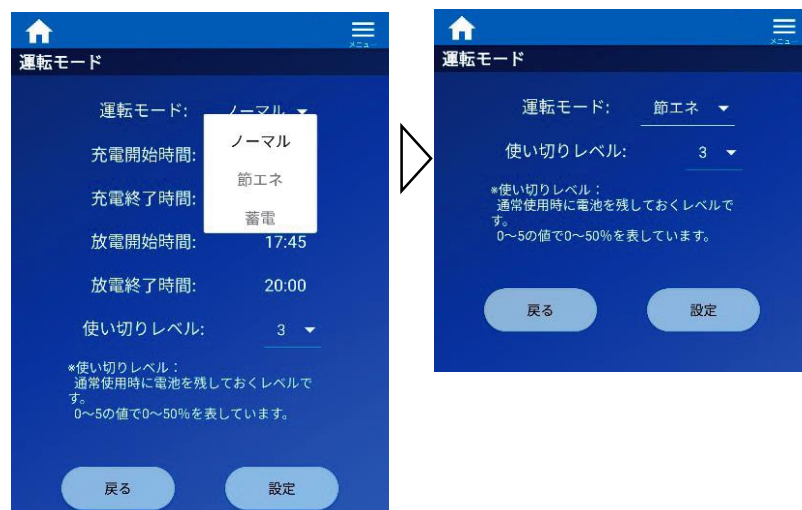


- ③ 運転モードのセレクトボックスをタップして、運転モードを選択します
選択肢から「**節エネ**」を選択します

使い切りレベル(*)は
必要に応じて変更します

設定 をタップします

(*)使い切りレベル
通常使用時に電池を残しておく
レベルです
0(0%)～5(50%)で設定します
初期値は3(30%)です
3: 電池残量30%まで放電する



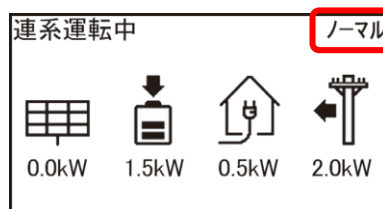
- ④ トップ画面で運転モードが「節エネ」になっていることを確認します

運転モードの切替方法(EIBS7②：表示ユニットAdVoice)

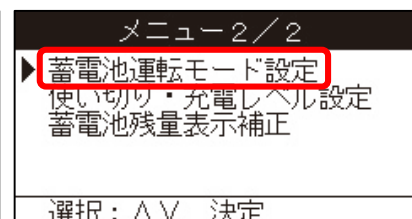
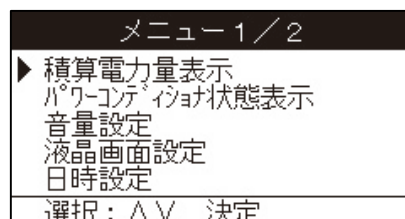
- EIBS7(パワーコンディショナ型名EHF-S●MP●B)の運転モード設定を表示ユニットAdVoiceで行う方法です。
※操作方法については取扱説明書も合わせてご覧ください。

手順

- ① AdVoiceのホーム・メニューボタンを押し、ホーム画面を表示します。
・ 現在の運転モードを控えてください(節電要請の解除後に元のモードに戻すため)

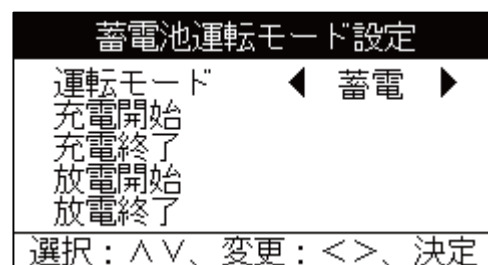


- ② メニュー1/2画面が表示されたら操作(V)ボタンを押してメニュー2/2画面を表示させる。操作(ΛV)ボタンで「蓄電池運転モード設定」を選択し、決定ボタンを押す



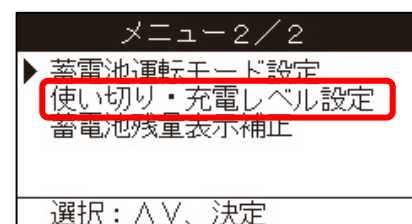
- ③ 操作(ΛV)ボタンで「運転モード」を選択し、操作(<>)ボタンを押して運転モードを「**節エネ**」に切り替えて決定ボタンを押す。

- ・ 運転モードは、「ノーマル」→「節エネ」→「蓄電」→「スマート」の順に切り替わります。



- ④ 使い切りレベル(*)を必要に応じて変更します

(*)使い切りレベル
通常使用時に電池を残しておくレベルです
0(0%)～5(50%)で設定します
初期値は3(30%)です
3：電池残量30%まで放電する



- ⑤ ホーム画面を表示し、運転モードが「節エネ」になっていることを確認する



運転モードの切替方法(共通)

- 節電ポイントやキャンペーンについては実施団体にお問い合わせください。

「節エネモード」は電力会社の需給ひっ迫に効果が期待されますが、ポイント獲得をお約束するものではありません。

- 運転モードを変えても停電時の動作には変化はありません。

停電が予想される場合は使い切りレベルを増やすことで停電への備えになりますが、節電効果は小さくなります。

- 「節エネモード」は太陽光発電電力を最大限自家消費するように運転しますので、売電電力量は減少します。

消費電力量が大きい場合や蓄電池が空の状態が続いた場合には電力会社から電力を購入します。

- 節電要請が解除されましたら、本書もしくは取扱説明書に記載の手順で変更前の運転モードに戻してください。

- 現在の運転モードが「スマートモード」になっている場合は「節エネモード」と同様の節電効果がありますのでそのままお使いください。

- 現在の運転モードが「HEMS専用」になっている場合は、プロジェクトの実施者にご相談ください。

『災害時に活用可能な家庭用蓄電システム導入促進事業費補助金』を受給されたお客様へのお願い

- 節電要請は経済産業省の電力需給ひっ迫**警報**の発令にもとづいて行われます。
- 節電要請期間中は「節エネモード」に切り替えて運転してください。
期間中の運転モードを確認いたしますので、パワーコンディショナをインターネットに接続してください。
- EKH2Aご利用のお客様はTabuchi-cloudのご利用を維持してください。
- 節電要請および要請解除はご登録のメールアドレス宛にメールでご連絡させていただきます。@dia-zbr.co.jpからのメールが受信出来る状態にしてください。

- 電力需給ひっ迫情報は経済産業省ホームページをご確認ください

https://www.meti.go.jp/press/category_05.html

- 補助金制度(公募は終了しています)については一般社団法人 環境共創イニシアチブのホームページをご確認ください

<https://sii.or.jp/kateichikudenchi31/>